

**令和5年度
事務事業評価結果
(令和4年度 実施計画)**

令和5年8月

会津坂下町行政評価委員会
(会津坂下町 政策財務課 政策企画班)

令和5年度 会津坂下町行政評価委員会 ヒアリング実施事業一覧

No.	事務事業名	担当班
1	行政施策PR促進事業	行政管理班
2	健康増進事業	福祉健康班
3	介護予防・生活支援サービス事業	保険年金班
4	消防団・自主防災組織の育成	危機管理班
5	企業誘致推進事業	商工観光班
6	役場新庁舎建設事業	庁舎整備班
7	「人の駅・川の駅・道の駅」活用事業	政策企画班

令和5年度 会津坂下町行政評価委員会 ヒアリング対象事業・評価結果

No.	事務事業名	担当班
1	行政施策PR促進事業	行政管理班
<評価結果> ② ・町外の方にも町の魅力を知ってもらえるような仕組みづくりを検討すること。 ・二次元コードの配置位置を工夫する等、お年寄りも使いやすいような工夫をすること。		
2	健康増進事業	福祉健康班
<評価結果> ③ ・一部の対象者だけでなく、広く町民の健康づくりに役立つような今後の事業内容を検討すること。		
3	介護予防・生活支援サービス事業	保険年金班
<評価結果> ② ・関係者との連携を密に図り、円滑に事業を実施し目的を達成できるようにすること。 ・包括支援センターなどの支援組織やサービスの内容などの周知を強化すること。 ・継続して参加できるような楽しいサロン活動や事業を検討すること。		
4	消防団・自主防災組織の育成	危機管理班
<評価結果> ① ・消防団の役場班編成の検討や班域の見直しなど、消防団員が少ない地区への対応を検討すること。 ・区長自治会長への呼びかけなどにより自主防災組織の編成を進めること。		
5	企業誘致推進事業	商工観光班
<評価結果> ③ ・企業誘致に係る全体的な部分から再度の練り直しを検討すること。 ・他市町村とは異なる会津坂下町ならではの独自の取組を検討すること。		

No.	事務事業名	担当班
6	役場新庁舎建設事業	庁舎整備班
<評価結果> ② 様々な意見を柔軟に取り入れながら全体像を示し、早急に事業を進めること。		
7	「人の駅・川の駅・道の駅」活用事業	政策企画班
<評価結果> ① ・生産者へ農産物売上状況の情報提供を行うなど、地域農業振興につながる取り組みをさらに推進すること。 ・河川敷については、環境的な部分を考慮しながら、より人を呼び込めるような施設となるよう整備を進めること。		

令和5年度 行政評価委員会 評価基準表

評価基準	評価内容
①	適正な効果があらわれているため、継続して事業を実施すべきもの
②	改善点があるが、継続して事業を実施すべきもの
③	改善点が多いため、事業内容を再検討すべきもの
④	事業の目的・成果が不明なため、事業を廃止すべきもの
⑤	その他(事業の統合・終了など)

令和5年度 事務事業評価シート

作成日 令和5年6月29日 作成

1 事務事業名		担当課	担当班	担当者
行政施策PR促進事業		総務課	行政管理班	國分 美咲
2 令和5年度の取り組み内容について				
事業内容（実施計画より）				
①YouTubeによる「今週のしょうへい」配信 ②SNSにて「町の今」「イベント」の周知 ③町公式ホームページのリニューアル				
3 令和4年度の実績について				
①令和3年度の取り組みの課題を記入してください				
①毎週のYouTube配信動画の再生回数を伸ばす （町民や町外者（町に縁のある者、旅行者、移住希望者）などより多くの方に届けたい情報を提供する） ②各課から貰った情報を広報係で投稿していたため、即時性に欠け、SNSの効果的活用ができていない ③職員一人一人が町の情報発信者であるという意識の醸成				
② ①について令和4年度の取り組みの中で改善した点を記入してください				
①より多くの方に興味を持ってもらえるよう、サムネイルの固定テンプレートをやめ、毎週異なるものとした・ハッシュタグをつけた・職員の出演を増やした→再生回数は最低でも200回を超えるようになった。 ②各課にログインID・パスワードを共有→SNSを効果的に活用し、タイムリーな情報発信を図ることができた。 ③ホームページの不要な情報の処理（有効期限切れ・リンク切れページの削除、非公開ページの処理				
③令和4年度の取り組みから見た新たな課題を記載してください				
①引き続き、毎週のYouTube配信動画の再生回数を伸ばす ②広報係としてのSNS情報発信はYouTube投稿報告に留まっている。「今週のしょうへい」以外で「町の今」を発信できるコンテンツをつくりたい。 ③ホームページは10年以上前に制作したものであり、情報が乱雑に並べられたトップページとなっている。情報が探しやすい・見やすいホームページに更改しなければならない。				
④上記の課題が生じる要因と今後の取組方針について記入してください				
（要因） ①公式アカウントの認知度が低い ②他業務との兼務でそこまで手を回せていなかった ③トップページがスクロール可能であるため、情報が整理されておらず、積み重なっている・トップページに表示してほしい意向が各課にある・古い情報の消去を徹底していない （取組方針） ①広報やかわら版での周知 ②以前、NTTの補助で町の風景をライブカメラで映し出していた。ライブでなくとも、広報係として「町の今」を伝える・町民を巻き込むコンテンツを考案する ③令和5年度中に委託業者の変更も視野に入れ、シンプルな設計でのホームページ更改を目指す				
⑤SDGsの視点による活動内容を記入してください				
11	YouTubeやSNS等を駆使し、行政施策等の町の情報を即時かつ効果的に発信・拡散させ、町民の生活利便性や観光・物産振興等に寄与する。			
⑥成果指標の達成状況について				
成果指標	SNS閲覧者数(延べ)	R4目標値	145,000	人
		R4実績値	199,055	人
4 上司（班長以上）のコメント				
SNSについては閲覧数が目標値を上回っているが、さらに拡散また町民が利用するよう導入部分を引き続き強化する。ホームページについては業者選定を早め5年度末までに更改する。また多くの方が利用するスマートフォンのページ作成に力を入れる。				
5 令和4年度事務事業実績の評価				
班内評価		内部評価		外部評価（行政評価委員会）
②		②		②
評価理由		評価理由		評価理由
SNSの効果的な運用で、町・行政施策の認知は拡大する。今後も継続して課題を改善しながら実施する必要があるため。		SNS等を効果的に活用できるように工夫すること。また、ホームページ更改を計画的に進めること。		・外からの視点を活かした新たなコンテンツを検討し、町外の人にも町の魅力を発信できるようにすること。 ・二次元コードの配置位置などを利用者が使いやすいように工夫すること。

令和5年度 事務事業評価シート

作成日 令和5年6月20日 作成

1 事務事業名		担当課	担当班	担当者
健康増進事業		生活課	福祉健康班	白井あゆみ
2 令和5年度の取り組み内容について				
事業内容（実施計画より）				
・「ばんげ健康プラン21」の評価及び次期計画の策定 ・関係団体と連携した健康ポイント事業等の健康づくりの推進				
3 令和4年度の実績について				
①令和3年度の取り組みの課題を記入してください				
【健康ポイント事業】コロナ禍で保健事業の縮小により十分な広報活動ができなかった。 【たばこ対策】禁煙支援や受動喫煙対策を実施しているが数値に見える効果が把握しにくい。				
② ①について令和4年度の取り組みの中で改善した点を記入してください				
【健康ポイント】コミセンやサロンを通じての周知、広報、記入台紙の全戸配布などの周知を行ってきた。保健事業等で対面で周知をすることにより、60代～70代の世代では継続達成者が多く見られた。				
③令和4年度の取り組みから見えた新たな課題を記載してください				
【健康ポイント事業】県よりR6年以降の事業について紙台紙方法は終了の可能性もあることが示された。アプリについては継続する方向性。これを受け、町でも事業評価を行い、継続について考えを整理・判断する必要がある。 【たばこ対策】喫煙率の低下が停滞している。禁煙支援の強化と受動喫煙防止対策を継続していく必要がある。				
④上記の課題が生じる要因と今後の取組方針について記入してください				
【健康ポイント事業】県が実施主体の「ふくしま健民パスポート事業」と59市町村の一体的な事業として実施しており、県の運営方針を大きく反映している。今後、県からの事業継続についての判断を受け町として考えを整理する。 【たばこ対策】禁煙希望者への禁煙支援の継続。受動喫煙対策を継続実施し、望まない受動喫煙を防止する取組を行う。				
⑤SDGsの視点による活動内容を記入してください				
2、3				
⑥成果指標の達成状況について				
成果指標	健康ポイント事業の申請者数及びアプリでのポイント達成者数	R4目標値	300	人
		R4実績値	297	人
4 上司（班長以上）のコメント				
第六次町振興計画の重点施策である2事業です。健康ポイント事業については、5の評価理由に記載があるとおり、今後の方針について県の方向性だけでなく町として客観的に評価し、継続・終了の根拠と今後の対策を具体的に示してください。				
5 令和4年度事務事業実績の評価				
班内評価	内部評価		外部評価（行政評価委員会）	
②	②		③	
評価理由	評価理由		評価理由	
国の健康増進事業としては69歳未満が対象となる。健康ポイント達成者の年代等を評価、事業内容の見直しが必要である。	計画の見直しの時期にも来ていることから、健康ポイント事業・たばこ対策事業ともに効果等を評価し、今後の取組をどのようにするか検討すること。		広く一般町民の健康増進に寄与するような事業内容の検討を図ること。	

令和5年度 事務事業評価シート

作成日 令和5年6月29日 作成

1 事務事業名		担当課	担当班	担当者
介護予防・生活支援サービス事業		生活課	保険年金班	松本功
2 令和5年度の取り組み内容について				
事業内容（実施計画より）				
・介護予防・生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・一般介護予防事業				
3 令和4年度の実績について				
①令和3年度の取り組みの課題を記入してください				
・Webでのケア会議の開催や、サロンに集まらなくてもできる介護予防運動の周知などの検討が必要 ・サロンの実施は出来たが、継続できる仕組みが必要（中心となる人がいなくても継続できる仕組み）				
② ①について令和4年度の取り組みの中で改善した点を記入してください				
・Webでのケア会議の開催は実施できなかった。介護予防運動の周知については、サロン通信で自宅で行えるフレイル予防体操等のお知らせをしたが、十分に周知できたとは言えない。 ・サロン事業のひとつの健康マージャン教室は好評で、初心者対象はすぐに定員となり、各地区コミセンでも開催できた。その中でボランティアで講師の手伝いをしてくれる方もおり、今後はきちんと講師が出来るように育てていきたい。				
③令和4年度の取り組みから見えた新たな課題を記載してください				
・介護予防については、運動であれば自宅で一人でもできるが、人との関わり・社会との関わりが必要であるため、サロンなどに集まれる仕組みが必要。また、サロンや運動教室に参加したいが、移動手段がないという声が多い。サロン参加以外にも通院や買い物等においても移動手段の確保が今後の課題。				
④上記の課題が生じる要因と今後の取組方針について記入してください				
・社協が所有しているワゴン車を利用した送迎システムを構築する。（R5年度の国のアドバイザー派遣事業に該当したため、今後システム構築に取り組む） ・健康マージャンについてはR5年度は、ボランティアとしての講師補助ではなく、きちんと講師の補助として依頼し、今後の講師育成に努めている。				
⑤SDGsの視点による活動内容を記入してください				
3	高齢者が元気で健康に生活できるよう介護予防に取り組む			
⑥成果指標の達成状況について				
成果指標	65歳以上の要介護、要支援の認定率	R4目標値	20.6	%
		R4実績値	20.9	%
4 上司（班長以上）のコメント				
社協・包括と連携し、住民ニーズに対応した事業展開をしていくこと。				
5 令和4年度事務事業実績の評価				
班内評価	内部評価	外部評価（行政評価委員会）		
②	②	②		
評価理由	評価理由	評価理由		
同じ事業を継続するのではなく、ニーズをふまえて様々な事業を展開する必要がある。	介護予防の観点から、関係機関と連携し事業を行っていく必要がある。	・関係者との連携を密に図り、円滑に事業を実施し目的を達成できるようにすること。 ・包括支援センターなどの支援組織やサービスの内容などの周知を強化すること。 ・継続して参加できるような楽しいサロン活動や事業を検討すること。		

令和5年度 事務事業評価シート

作成日 令和5年6月30日 作成

1 事務事業名		担当課	担当班	担当者
消防団・自主防災組織の育成		総務課	危機管理班	谷澤敏寛
2 令和5年度の取り組み内容について				
事業内容（実施計画より）				
・団員の処遇改善、負担軽減の検討 ・初期消火に対する町内事業所の協力体制整備方法の検討 ・自主防災組織編成(4組織) ・子ども達に対する消防団活動の意識醸成				
3 令和4年度の実績について				
①令和3年度の取り組みの課題を記入してください				
・消防団員の減少により、災害時の初動体制が確保が難しくなっている。班域を見直し、班員数を確保して災害に迅速に対応する。 ・自主防災組織の立ち上げについて、町広報で周知を行う。				
② ①について令和4年度の取り組みの中で改善した点を記入してください				
・一部の地区ではあるが、火事や災害時の際は、車両班を中心に集まって出動するように消防団の初動体制確保がなされた。				
③令和4年度の取り組みから見えた新たな課題を記載してください				
・地区ごとに問題意識が全然違うため、消防団員が足りないところなどは積極的に出動体制の確保を図っているが、充足している地区については、現段階では見直しなどの取り組みに至らない。 ・自主防災組織の必要性を認識していないと感じる。				
④上記の課題が生じる要因と今後の取組方針について記入してください				
・地区ごとに人員の充足・不足が違うため、一律に見直しをすることができない。それぞれの地区に応じた検討が必要。 ・自主防災組織は地域住民による自主的な防災活動のため、根気強く必要性を説明していきたい。				
⑤SDG s の視点による活動内容を記入してください				
13	気候変動による災害の頻発化・激甚化に備え、設備や装備の充実を図る。			
⑥成果指標の達成状況について				
成果指標	自主防災組織の設立件数	R4目標値	1	件
		R4実績値	0	件
4 上司（班長以上）のコメント				
災害時の初動体制が遅れると後々に悪影響を及ぼすので、連携を取りながら迅速に対応すること。また、今後は、災害時の自助・共助が必要不可欠となってくるので、各地域の自主防災組織の立ち上げを積極的に進めること。				
5 令和4年度事務事業実績の評価				
班内評価		内部評価		外部評価（行政評価委員会）
②		②		①
評価理由		評価理由		評価理由
消防団や自主防災組織に求められる役割が年々増えてきており、それに対応するための課題も増えてきているため。		機会をとらえて消防団や自主防災組織について周知を行い、地域の理解が深まるような取り組みを実施すること。		・消防団の役場班編成の検討や班域の見直しなど、消防団員が少ない地区への対応を検討すること。 ・区長自治会長への呼びかけなどにより自主防災組織の編成を進めること。

令和5年度 事務事業評価シート

作成日

1 事務事業名		担当課	担当班	担当者
企業誘致推進事業		産業課	商工観光班	長峯麻美
2 令和5年度の取り組み内容について				
事業内容（実施計画より）				
・町内空き工場の実態把握と情報発信 ・空き店舗活用による起業支援 ・県東京事務所との情報共有及び誘致活動 ・既存企業及び周辺自治体と連携した企業誘致活動 ・インターネットを利用した情報発信				
3 令和4年度の実績について				
①令和3年度の取り組みの課題を記入してください				
・空き工場や空き倉庫の条件が合う物件が無いため、反応がない。 ・工業団地整備を行っていないため、企業誘致の条件が厳しい状態にある。				
② ①について令和4年度の取り組みの中で改善した点を記入してください				
特になし				
③令和4年度の取り組みから見た新たな課題を記載してください				
・空き工場や空き倉庫の条件が合う物件が無いため、反応がない。 ・工業団地整備を行っていないため、企業誘致の条件が厳しい状態にある。 ・事務所や飲食店に使える規模の居抜き物件に対する問い合わせは年に数件あるため、そういった規模の空き店舗情報が必要。 ・空き工場、空き店舗等の情報を町が独自に調査し、情報を更新していくことは多大な労力が掛かる上、専門知識に乏しいことからトラブルの原因となりやすい。				
④上記の課題が生じる要因と今後の取組方針について記入してください				
・空き工場、空き店舗等の現況調査を実施する必要がある。 ・不動産業者等と連携し、問合せがあった場合、早期に繋ぐための仕組みづくりが必要。 ・現状、浜通りを中心に企業誘致に関する補助事業が実施されているため、会津地方に工場用地を求め企業は極僅かである。工業団地の整備については、動向を伺いながら慎重に進めていく。				
⑤SDGsの視点による活動内容を記入してください				
8				
⑥成果指標の達成状況について				
成果指標	町内空き工場への新規誘致企業数	R4目標値	1	社
		R4実績値	0	社
4 上司（班長以上）のコメント				
コロナの終息により経済活動の活性化や制度改革により企業の活動が活発化している。紹介できる物件の把握と情報提供を迅速に出来る準備が必要。情報提供の内容については不確定なものは除く等範囲を検討すること。				
5 令和4年度事務事業実績の評価				
班内評価	内部評価		外部評価（行政評価委員会）	
②	②		③	
評価理由	評価理由		評価理由	
企業の投資活動が活発になってきているため、さらなる推進が必要	問合せに対し迅速に対応できるよう情報を整理しておく必要がある。		・企業誘致に係る全体構想からの再度の練り直しを検討すること。 ・会津坂下町ならではの独自の取組を検討すること。	

令和5年度 事務事業評価シート

作成日 令和5年6月19日 作成

1 事務事業名		担当課	担当班	担当者
役場新庁舎建設事業		庁舎整備課	庁舎整備班	鈴木達也
2 令和5年度の取り組み内容について				
事業内容（実施計画より）				
・基本構想、基本計画の検討 ・建設用地の取得 ・建物等補償 ・基本設計業務委託 ・説明会の開催				
3 令和4年度の実績について				
①令和3年度の取り組みの課題を記入してください				
・旧江戸鮎土地建物を競売にて購入したため、敷地活用のための解体工事が必要。				
② ①について令和4年度の取り組みの中で改善した点を記入してください				
・解体工事を実施し、仮駐車場として整備した。				
③令和4年度の取り組みから見た新たな課題を記載してください				
町の方針として、新庁舎建設場所を再考することとし、旧坂下厚生総合病院跡地を建設地とすると表明した。それに伴い、現庁舎近隣住民からの反発が想定される。また、現庁舎周辺用地を建設地とすると議決されているため、その変更議案の提出が必要。 現庁舎跡地の利活用について示す必要がある。				
④上記の課題が生じる要因と今後の取組方針について記入してください				
・町民と共に10年後・20年後のまちづくりの将来像を描きあげていく中で、新庁舎がどの場所にあるべきかを見定めていく。 ・新庁舎検討委員会において、新庁舎に必要な機能・役割を議論し、新庁舎の基本構想を練り上げる。 ・懇談会等により町民が新庁舎に求める機能の意見集約を行う。（地域づくり懇談会、各種団体会合等） 上記を実施し、町民と議論をした上で町が責任を持って建設場所について判断する。				
⑤SDGsの視点による活動内容を記入してください				
5、8、10、11				
⑥成果指標の達成状況について				
成果指標	なし	R4目標値	なし	なし
		R4実績値	なし	なし
4 上司（班長以上）のコメント				
どんなまちにしたいかというまちづくり全体の議論が不足していたため、今後は第六次振興計画後期基本計画の策定と共に、まちづくり全体の議論を行うことで、新庁舎の姿や位置を検討していきたい。				
5 令和4年度事務事業実績の評価				
班内評価	内部評価		外部評価（行政評価委員会）	
①	②		②	
評価理由	評価理由		評価理由	
新庁舎の建設は喫緊の課題であり、早急に事業を進める必要がある。	懇談会等の結果を踏まえ、新庁舎の建設に向け手順を踏んで進めて行く必要がある。		・様々な意見を柔軟に取り入れながら全体像を示し、早急に事業を進めること。	

令和5年度 事務事業評価シート

作成日

1 事務事業名		担当課	担当班	担当者
「人の駅・川の駅・道の駅」活用事業		政策財務課	政策企画班	遠藤奈重
2 令和5年度の取り組み内容について				
事業内容（実施計画より）				
・協議会事務局会議の定期的な開催による情報共有 ・指定管理委託料、協議会運営に係る負担金の支払い ・株主として「道の駅あいづ」の経営に関与する				
3 令和4年度の実績について				
①令和3年度の取り組みの課題を記入してください				
定期的に会議を開催し、道の駅・湯川村・会津坂下町での情報共有を実施している。 地域振興施設としての位置づけと、株式会社としての利益確保は、ある意味相反するものである。どのあたりで調整を図っていくのかが課題である。 また、河川敷のハード整備に合わせたソフト事業の展開が必要である。				
② ①について令和4年度の取り組みの中で改善した点を記入してください				
農産物においては、総売り上げにおける湯川村・会津坂下町の製品の割合が向上した。また、生産者に対する研修会開催などの成果により、品質向上が図られている。 また、新たな顧客獲得策の1つとして、大川喜多方サイクリングロードを活用したレンタサイクルの実証実験を実施した。				
③令和4年度の取り組みから見えた新たな課題を記載してください				
河川敷を整備する佐野目地区第2期かわまちづくり事業構想に伴う具体的な活用方法の検討が必要である。				
④上記の課題が生じる要因と今後の取組方針について記入してください				
レンタサイクルの実証実験を継続するとともに、河川敷をデイキャンプやバーベキュースペースとして活用するなどの実証実験を実施する。				
⑤SDGsの視点による活動内容を記入してください				
8、9、12				
⑥成果指標の達成状況について				
成果指標	道の駅あいづにおける農産物・物産品の売上金額	R4目標値	440,000	千円
		R4実績値	571,976	千円
4 上司（班長以上）のコメント				
道の駅は、会津坂下町・湯川村のための地域振興施設であり、その運営は指定管理者である株式会社湯川坂下が担っている。地域振興の成果指標としては、売り上げが最もわかりやすいが、数字に表れない地域のブランド化等にも取り組む必要がある。町（村）は、経営者として、運営会社にも地域振興施設の理念を常に問い続けるとともに、集客が図られるための様々な取り組みによりバックアップしていく。				
5 令和4年度事務事業実績の評価				
班内評価		内部評価		外部評価（行政評価委員会）
②		②		①
評価理由		評価理由		評価理由
		道の駅あいづは、利用者数・売上ともに伸びている。この集客力を活かし町（村）の活性化に繋がる取り組みを継続して実施する必要がある。		・生産者へ農産物売上状況の情報提供を行うなど、地域農業振興につながる取り組みをさらに推進すること。 ・河川敷については、環境的な部分を考慮しながら、より人を呼び込めるような施設となるよう整備を進めること。

令和5年度 事務事業評価結果(令和4年度実施計画)

事務事業 No.	事務事業名	担当班(局)	内部評価	ヒアリング 対象	評価結果	
1	教育相談機能充実事業	教育総務	①		①	
2	子育てふれあい交流センター事業	子ども支援	①		①	
3	乳幼児・児童医療費助成事業	子ども支援	①		①	
4	私立保育所等施設型給付事業	子ども支援	②		②	町としてできる保育士の確保のための取組を検討すること。
5	ひとり親家庭医療費助成事業	子ども支援	①		①	
6	ファミリーサポート事業	子ども支援	②		②	必要とする人が活用しやすいような運用をすること。
7	放課後児童健全育成事業	子ども支援	②		②	待機児童解消のために運営方法を改善すること。
8	ホームスタート事業	子ども支援	②		②	支援が必要な家庭が利用できるよう民生児童委員などと連携していくこと。
9	養育支援訪問事業	子ども支援	②		②	支援を必要とする家庭が利用できるよう、民生児童委員など地域の力を活用していくこと。
10	育児応援事業	福祉健康	②		②	関係課と連携しながら、ニーズに合わせた事業を行っていくこと。
11	特別支援教育支援員配置事業	教育総務	①		①	
12	不妊治療助成事業	福祉健康	②		②	県の事業と連携しながら、事業を必要とする対象者に対して効果的な支援となるよう取り組んでいくこと。
13	通学安全対策事業	教育総務	①		①	
14	幼稚園通園事業	南幼稚園 東幼稚園 子ども支援	①		①	
15	放課後子ども教室推進事業	生涯学習	②		②	コーディネーター人材の発掘を進めること。
16	コミュニティスクール事業	教育総務 生涯学習	②		②	体制整備の段階から関係課とともに検討していくこと。
17	学力向上推進事業	教育総務	②		②	教職員のスキル向上のために研修などを充実させること。
18	国際理解・文化交流事業	教育総務	②		②	幼少期からの英語教育の環境づくりのために、効果的なALTの活用方法を検討すること。
19	小中学校情報教育機器整備事業	教育総務	②		②	より効果的な機器の活用が図れるよう、ICT支援員の配置も含めサポートを継続させること。

令和5年度 事務事業評価結果(令和4年度実施計画)

事務事業 No.	事務事業名	担当班(局)	内部評価	ヒアリング 対象	評価結果	
20	生涯学習推進事業	生涯学習	②		②	町民の生涯学習に寄与できる取組について手法等も工夫しながら進めていくこと。
21	スポーツ振興事業	生涯学習	②		②	運動機会の創出も含め、継続して体力作りを行えるようなスポーツ振興事業を実施すること。
22	総合型地域スポーツクラブ支援事業	生涯学習	⑤		⑤	21「スポーツ振興事業」に統合委託内容について再検討すること。
23	五浪美術記念館活用事業	生涯学習	②		②	文化芸術の拠点としての機能を果たせるよう周知を図り、有効的に活用していくこと。
24	ブックスタート促進事業	生涯学習	②		②	コロナ禍で実施できなかった読み聞かせの機会を提供できるようにしていくこと。
25	本に親しむ町民をつくる事業	生涯学習	②		②	図書システムの導入や図書ボランティアの育成など、町民が本に親しみやすい環境づくりを継続させること。
26	学校給食センター運営事業	学校給食センター	②		②	生産者など関係者と協力して食育の機会を十分設けること。
27	町史編さん事業	生涯学習	②		②	計画的に町史発刊を進めていくこと。
28	文化財調査・活用事業	生涯学習	①		①	
29	指定文化財保存調査事業	生涯学習	②		②	定期的な調査により、適正な管理を行っていくこと。
30	埋蔵文化財センター活用事業	生涯学習	①		①	
31	文化財保存活用地域計画策定事業	生涯学習	②		②	R6年度からの策定開始に向け早急に情報収集などの準備を進めること。
32	遺跡発掘調査事業	生涯学習	②		②	手法について工夫をしながら町の文化遺産を後世に伝えるためにも専門的な人材育成を行っていくこと。
33	歴史の道維持・管理事業	生涯学習	②		②	地域と連携しながら長期的な視点で維持管理を行うこと。
34	陣が峯城跡・亀ヶ森古墳等保存整備事業	生涯学習	③		③	総合的な保存活用計画を作成し、それをもとに事業を行うこと。
35	健康増進事業	福祉健康	②	○	③	広く一般町民の健康増進に寄与するような事業内容の検討を図ること。
36	健康管理センター活用事業	保険年金	②		②	施設の計画的な改修や申請方法の検討も含め、利用者がより活用しやすい施設となるよう取り組むこと。
37	妊婦・乳幼児健康診査事業	福祉健康	②		②	対象者数に応じた効率的な健診を実施し、健診後に適切な案内ができる体制を整えること。
38	予防接種事業	福祉健康	①		①	

令和5年度 事務事業評価結果(令和4年度実施計画)

事務事業 No.	事務事業名	担当班(局)	内部評価	ヒアリング 対象	評価結果
39	健康診査事業	保険年金	②		② 未受診者に対する受診勧奨の新たな取組も行いつつ、受診率向上のために引き続き対策をとること。
40	健康診査事業(がん検診)	福祉健康	②		② 若年層の受診率向上のために、さらに啓発や受診機会創出などに取り組む必要がある。また、受益者負担についても見直しを図ること。
41	食育推進事業	福祉健康	②		② 食育推進計画に基づき、町民の健康増進のため食育の観点から効果的な取組を実施すること。また、成果指標についても検討すること。
42	坂下厚生総合病院新築移転・除却支援事業	都市土木	①		①
43	介護・生活支援の担い手育成事業	保険年金	②		② 効果的な事業となるよう制度の見直しや事業の周知方法改善などに取り組むこと。
44	一人暮らし高齢者生活支援事業	保険年金	①		①
45	介護予防・生活支援サービス事業	保険年金	②	○	② ・関係者との連携を密に図り、円滑に事業を実施し目的を達成できるようにすること。 ・包括支援センターなどの支援組織やサービスの内容などの周知を強化すること。 ・継続して参加できるような楽しいサロン活動や事業を検討すること。
46	介護予防・地域での支え合い事業	保険年金	②		② 協力団体の周知方法を工夫すること。
47	地域生活支援事業	福祉健康	①		①
48	シルバー人材センター活用事業	福祉健康	①		①
49	包括的支援事業・任意事業	保険年金	②		② 地域課題解決の連携の仕組みを構築すること。
50	消防団・自主防災組織の育成	危機管理	②	○	① ・消防団の役場班編成の検討や班域の見直しなど、消防団員が少ない地区への対応を検討すること。 ・区長自治会長への呼びかけなどにより自主防災組織の編成を進めること。
51	消防施設整備事業	危機管理	①		①
52	防災計画改訂事業	危機管理	②		② 高齢者や障がい者などの要配慮者への対応について、防災マップ作成だけではなく支援者側との連携も図ること。
53	木造住宅等安全対策促進事業	都市土木	②		② 住宅の耐震改修が図られるよう、事業の周知方法を工夫し、実施すること。
54	安全標識等設置事業	危機管理	①		①
55	街頭指導事業	危機管理	①		①
56	高齢者交通安全対策事業	危機管理	②		② 人身事故件数は減少しているが、物損事故件数が多いため、重大事故に発展しないよう、効果的な高齢者交通安全教室を実施すること。

令和5年度 事務事業評価結果(令和4年度実施計画)

事務事業 No.	事務事業名	担当班(局)	内部評価	ヒアリング 対象	評価結果	
57	消費者行政活性化事業	商工観光	②		②	被害の未然防止のため、周知媒体を増やすなど広報を強化すること。
58	空き家対策事業	都市土木	②		②	空き家対策のため補助制度の整備を計画的に進めること。
59	廃棄物減量化推進事業	戸籍環境	②		②	事業の広報や周知の方法を工夫すること。
60	廃棄物処理収集事業	戸籍環境	①		①	
61	環境美化推進事業	戸籍環境	②		②	カラス、不法投棄対策とともに継続した取り組みが必要である。状況を注視しながら対策を行っていくこと。
62	ばんげエコプラン推進事業	戸籍環境	⑤		⑤	59「廃棄物減量化推進事業」に統合 引き続きリサイクル啓発のため周知を図ること。
63	再生可能エネルギー導入促進事業	政策企画	①		①	
64	合併処理浄化槽設置整備事業	上下水道	②		②	対象者が活用しやすい補助制度を整備し、定期的に制度を周知すること。
65	公共下水道事業(維持管理)	上下水道	⑤		⑤	R5年度実施計画より「公共下水道事業」を新設し、統合 機器更新等に関する長期的な計画を作成し、適正な維持管理に努めること。
66	公共下水道事業(坂下西・東・中央処理区)	上下水道	⑤		⑤	R5年度実施計画より「公共下水道事業」を新設し、統合 事前の調査を徹底し、効率的な施工方法で工事を実施できるようにすること。
67	用排水路整備事業	上下水道	②		②	関係団体と密に連携をとりながら、計画的に用排水路の維持整備を進めること。
68	農業集落排水整備事業	上下水道	②		②	機器の更新を計画的に行い、適正な維持管理を行うこと。
69	役場新庁舎建設事業	庁舎整備	②	○	②	・様々な意見を柔軟に取り入れながら全体像を示し、早急に事業を進めること。
70	都市公園設備事業	都市土木	②		②	「修繕計画」を早急に作成し、計画的な施設や遊具の修繕や、維持管理に努めること。
71	坂下東第一土地区画整理事業	都市土木	①		①	
72	地籍調査事業	財務管理	①		①	
73	上水道施設整備事業	上下水道	①		①	
74	農村無給水地区整備補助事業	上下水道	②		②	対象者が必要としている制度を整備した上で、確実な周知を実施していくこと。

令和5年度 事務事業評価結果(令和4年度実施計画)

事務事業 No.	事務事業名	担当班(局)	内部評価	ヒアリング 対象	評価結果	
75	除雪機械整備事業	都市土木	①		①	
76	除雪対策事業	都市土木	①		①	
77	町営住宅改修事業	都市土木	①		①	
78	町営住宅管理業務	都市土木	②		②	長期的な町営住宅のあり方も含めて、計画的な維持管理に努めること。
79	定住人口対策事業	移住定住	②		②	会津坂下町に移住した際に利用できる補助や制度の情報発信が、移住者に効果的に伝わるよう努めること。
80	宇内沼越線整備事業(丈助橋)	都市土木	①		①	
81	橋梁整備事業	都市土木	①		①	
82	町道整備事業	都市土木	①		①	
83	生活交通路線安全対策事業	政策企画	①		①	
84	生活路線バス維持対策事業	政策企画	①		①	
85	只見線利活用促進事業	政策企画	①		①	
86	経営所得安定対策交付金事業	農林振興	②		②	国の政策変更の情報を的確に捉え、農業者にとって有利な制度運用を提供できるようにすること。
87	経営体育成支援事業	農林振興	②		②	新たな課題を解決するため、関係機関、関係者と連携し事業を実施すること。
88	人・農地プラン推進事業	農林振興	②		②	集落農業の存続のため、課題抽出の機会ととらえ地域計画策定を進めること。
89	機構集積支援事業(農地集積協力金交付事業)	農林振興	⑤		⑤	R5年度より「地域計画推進事業(人・農地プラン)」に統合地域計画策定とあわせ、制度の周知を図ること。
90	有害鳥獣対策事業	農林振興	②		②	広範囲な対策が必要であるため、行政区や地域住民との連携を密にしながら事業に取り組むこと。
91	老朽ため池等整備事業	農林振興	①		①	
92	中山間地域等直接支払事業	農林振興	②		②	地域の将来を見据えて、後継者育成等の営農継続のための取り組みを行うこと。
93	土地改良事業(水利施設整備事業(基幹水利施設保全型))	農林振興	①		①	

令和5年度 事務事業評価結果(令和4年度実施計画)

事務事業 No.	事務事業名	担当班(局)	内部評価	ヒアリング 対象	評価結果
94	多面的機能支払交付金事業	農林振興	②		② 継続して事業が実施できるよう、土地改良区等の関係期間との連携を図ること。
95	森林活動・緑化推進事業	農林振興	②		② 課題解決のため、関係者との協働による事業展開を図ること。
96	物産等販売促進事業	商工観光 農林振興	②		② 町物産の販促について今後も工夫をしていくこと。
97	街なか賑わい創出事業	商工観光	②		② 関係者と連携し、中心市街地活性化のための取組を推進すること。
98	企業経営・雇用支援事業	商工観光	②		② 町内企業の人材不足に対応するため取組の手法を工夫すること。
99	企業誘致推進事業	商工観光	②	○	③ ・企業誘致に係る全体的な部分から再度の練り直しを検討すること。 ・他市町村とは異なる会津坂下町ならではの独自の取組を検討すること。
100	勤労者互助会事業	商工観光	②		② メリットなどを示しながら加入者増進を図っていくこと。
101	中小企業・小規模事業者支援事業	商工観光	①		①
102	観光ボランティア育成事業	商工観光	③		③ 町外からの観光客を呼び込めるような事業内容の検討とガイドの人材育成に取り組むこと。
103	広域観光推進事業	商工観光	③		③ 広域での取組の中で町に観光客を呼び込めるような事業内容を検討していくこと。
104	交流人口対策事業	移住定住	②		② お試し住宅の有効活用について、より効果的な対象者に絞った運営方法を検討すること。
105	「人の駅・川の駅・道の駅」活用事業	政策企画	②	○	① ・生産者へ農産物売上状況の情報提供を行うなど、地域農業振興につながる取り組みをさらに推進すること。 ・河川敷については、環境的な部分を考慮しながら、より人を呼び込めるような施設となるよう整備を進めること。
106	祭り活性化事業	商工観光	②		② 祭の担い手確保のため、関係団体と協議をしていくこと。
107	地域づくり推進事業	政策企画	②		② 地域内での話し合いを活性化し、地域課題に取り組む意識の醸成を図ること。
108	集会所建設補助事業	行政管理	①		①
109	協働によるまちづくり推進事業	政策企画	②		② 多くの方が事業を利用できるよう、相談体制の強化を図ること。
110	アダプト制度推進事業	都市土木	③		③ 参加しやすい制度となるように、実施方法等の見直しを行うこと。
111	地域コミュニティセンター運営事業	政策企画	①		①

令和5年度 事務事業評価結果(令和4年度実施計画)

事務事業 No.	事務事業名	担当班(局)	内部評価	ヒアリング 対象	評価結果	
112	関係人口対策事業(地域おこし協力隊活用事業)	移住定住	②		②	「地域おこし協力隊」の導入は町の過疎対策でも重要な手段であるため、明確になった課題を踏まえつつ事業を推進すること。
113	若者による地域づくり推進事業	政策企画	①		①	
114	地域づくり情報受発信事業	政策企画	②		②	多くの住民の方が懇談会に参加できるように工夫すること。
115	人材育成事業	行政管理	②		②	共通認識のもと目的を明確にした研修などの人材育成の取組を実施すること。
116	広域市町村圏整備組合事業負担金	政策企画	①		①	
117	会津西部斎苑運営事業	戸籍環境	①		①	
118	社会保障・税番号制度事業	戸籍環境	①		①	
119	下水道・農集排水企業会計導入事業	上下水道	①		①	
120	行政評価事業	政策企画	①		①	
121	地域イントラネット基盤整備事業	政策企画	①		①	
122	電子計算機整備事業	政策企画	①		①	
123	地方税電子化事業	税務管理	②		②	利用者の利便性向上と事務効率化のため、税務署とも連携し事業を推進していくこと。
124	ふるさと納税推進事業	財務管理	①		①	
125	議会の広報広聴充実事業	議会事務局	②		②	特に広聴について取組を強化すること。
126	行政施策PR促進事業	行政管理	②	○	②	・外からの視点を活かした新たなコンテンツを検討し、町外の人にも町の魅力を発信できるようにすること。 ・二次元コードの配置位置などを利用者が使いやすいように工夫すること。
127	広報あいづばんげ発行事業	行政管理	②		②	町民の方が必要としている情報を把握するため、町民アンケートを実施すること。
128	情報化施策推進体制整備事業	政策企画	②		②	DX導入のための情報収集に努め、町としての取り組みを検討すること。
129	地域インターネット活用事業	政策企画	①		①	